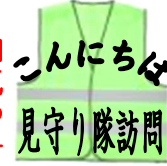


地域(見守り隊)と保護者(育友会)が連携

見守り隊かわら版

R5-3

辰口中央小学校見守り隊
能美市辰口町735番地
076115112009



和気つ子見守り隊

和気小学校見守り隊



これまで和気小学校でも登下校の見守り活動がおこなわれてきました。15年前の2008(平成20)年には、児童数150人に28名の見守り隊登録者がいました。すべての人が毎日活動していたわけではありませんが、それなりに見守り隊として機能していました。

また和気小学校児童の多くを占める和光台の通学路には毎日民生児童委員の方が立ってくださり、児童の安全が確保されてきました。

しかし、高齢化により隊員数は減少していくことになりました。



【気をつけてね】

生みの苦しみ

2学期に開催された学校運営協議会で、「保護者が見守り活動に参加しないのはおかしいのではないか」という発言がありました。これを受けて、学校・育友会（PTA）・運営協議会の3者で話し合っていくことになりました。「生みの苦しみ」の始まりです。

「見守り活動が続けられない」

隊員数の減少に加えて、見守り隊に新しい問題がでてきました。

2020（令和2）年、和気小学校も新型コロナウイルス禍で休校になり、不足した授業を補うために夏休みが短縮されました。8月20日、夏の猛暑が続く中で2学期が始まり、高齢の見守り隊員に熱中症を訴える人がでます。見守り隊から学校に、「人がおらず見守り活動が続けられない」との連絡も入りました。民生児童委員や知人に頼んで、その場は何とかしのぐことができました。

*見守り隊の再生に尽力された和気小学校運営協議会CSディレクターの小路雅広さん【写真】にお聞きしました。



育友会役員会や総会に参加して、見守り隊の現状や課題を説明し、保護者の協力をお願いしました。

当初は、「仕事があるので朝は無理。下校時も途中で会社をぬけ出せない。」とか、「皆でお金を出し合ってシルバール材に依頼してはどうか」など、否定的な意見が多く出されました。苦しいときもありましたが、学校とも相談しながらねばり強くすすめていきました。

やがて「保護者で当番制にしてやればいい」という声が出るようになり、その方向で調整していくことになりました。

地域と保護者が連携して

新しい見守り活動が2022（令和4）年の5月から始まりました。和気小学校児童の9割が渡る和光台近くの横断歩道で全保護者が当番制で見守り活動することになったのです。

新しく募集に応じた見守り隊員も加わって、他町での見守り活動もおこなわれています。



【新しい見守り活動】

*能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます

気をつけたい

冬期の見守り活動

何かとあわただしい年末年始を過ごし、冬休みを終えた子どもたちが学校へもどってきました。見守り隊のみなさんには3学期もよろしくお願いします。

日本海側に住むわたしたちには避けて通れない降雪の冬に入っています。吹雪の日もあれば、氷が張るような凍てつく日もあります。通学路には冬だからこそ気をつけたい危険がたくさんあります。見守り活動時に気をつけたいことを少しまとめてみました。



*雪国にお住いのみなさんに、お釈迦様に説法をするようなことをまよました。すみませーん!

- スリップの危険
雪道では人も車も滑ります
- 用水路転落の危険
風の強い日凍結の日は注意
- 落雪の危険
屋根の下を通るときは
- 傘で視界が・・・
風の強い日はとくに危険
- カーブミラーの凍結
確認不足のまま車が出てくることも

寒さに備えて

帽子 寒さ対策+頭部保護

マスク・襟巻き 寒さを防ぐのに有効

服装 寒さ対策+雨の日は雨具(傘、合羽)

はき物 ゴム長靴、防水シューズなど

手袋 寒さ対策+けが防止

携帯カイロ 体調に合わせて

寒さの厳しい日もあります。自分の体調に合わせて活動しましょう

太平洋側の地域に雪が数cm降ったとってテレビが大騒ぎしているのを見ると、不謹慎かもしれませんが、思わず笑ってしまいます。しかし、雪道に慣れたつもりでいるわたしたちも雪による事故は人ごとではありません。ご用心、ご用心。